平成 23 年度　事務事業事後評価調書（平成　22　年度事業）

整理番号	10	ー	7

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	町道等維持業務委託事業					
評価者	担当課名		建設水道課	担当係名		土木管理係
	管理職	職名	課　長	作成者	職名	係　長
		氏名	佐　竹　邦　夫		氏名	田　原　慎　也
事業の概要	本事業は、町道の砂利道における車両及び歩行者等の円滑な通行を確保するため、砂利補修及び路面整正を実施する事業であります。					

全体計画	/単年度繰返
（平成 20 年度～ 24 年度）	
事業費 国・道支出金	千円
地方債	千円
その他	千円
一般財源	22,500 千円
事業費計	22,500 千円

実施方法	■ 直営	□ 民間委託	□ その他（　）
第 5 期 総合計画（前期）	■ 登載事業	□ 非登載事業	優先度 B

事業の位置付け			
政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
基本施策	16	交通体系の整備	
単位施策	1	道路環境の向上	
事務事業の種類	■ 自治事務	□ 法定受託事務	
その他計画・根拠等			

事業費 実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(計画)
国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
雄武町負担額（一般財源）	4,115 千円	4,075 千円	4,095 千円	4,500 千円	4,500 千円
合計	4,115 千円	4,075 千円	4,095 千円	4,500 千円	4,500 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	道路利用者、道路	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	砂利道の通行障害。	砂利敷延長及び砂利道整正延長		
			目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	町道砂利道の円滑な通行の確保。	① 砂利敷延長／砂利敷延長の実績	目標年度	平成22年度
			目標値	4,240 m
			実績値	4,240 m
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	町道砂利道の安全な通行の確保。	② 砂利道整正延長／砂利道整正延長の実績	目標年度	平成22年度
			目標値	225,027 m
			実績値	225,027 m
			達成度	100.0 %

内容（どのような手段で何を行ったか）	
①民間委託により実施	砂利敷委託は、入札により民間業者が実施した。また、路面整正は、砂利道を熟知しグレーダーの運転手を抱えている民間業者からの人員派遣により実施した。

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	町道砂利道の円滑な通行を確保するためには、町が担う必要がある。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	当該事業を実施したことにより、町道砂利道の凹凸の解消や砂利補充により円滑な通行が確保された。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 □その他	砂利敷きの補充材として、平坦部では切り込み砂利より安価なズリを使用し、路面整正では、凹凸の少ない路線を省くことで延長を縮小し、事業費の抑制を図ったことは、効率的であると判断する。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	町道砂利道の円滑な通行が確保されたので、不特定多数の道路利用者に対して公平であると判断する。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
町道砂利道の安全な通行確保のためには、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
町道砂利道の安全な通行確保のためには、継続、現状維持が適当であると判断する。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）